

PROGRESS Report



**HAPPY BATTON
PROJECT**

HAPPY BATTON PROJECT とは

一般財団法人 mudef では、これまで、特別なニーズがある子どもたちを中心に乗馬を通じて心と、体をリハビリする乗馬プログラムを支援してきました。

「動物と触れ合い、心を癒す」。

日本ではこのような行為を「アニマルセラピー」と呼んでおり、QOL (Quality of Life) の向上や予防医学的に効果があると言われています。

子どもたちが安心して暮らし、未来への夢を持つことができる社会は、私たちが暮らす社会が成熟し、すべての人が、等しく安心して暮らせる社会でもあります。

一般財団法人 mudef は、特に支援を必要とする子どもたちを対象に、アニマルセラピープログラムを実施、神奈川県を中心に、訪問プログラムを運営しています。

みその子どもの家

1946年に誕生した「社会福祉法人みその 聖園子供の家」は、子どもが社会の健全な一員となるよう、家庭に代る環境の中で、のびのびと、明るく、たくましく、健やかに育つために、誠心誠意子どもの支援に尽くします。

同団体は、5縣市（神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市、相模原市）で協定し定員108名を分割して育成にあっています。

小学生以上は、男女別6～8名の小規模ユニットケアで、職員体制は、複数の職員が複数の部屋を支援する複数担当制を採用しており、子どもたちの住環境と、児童支援の充実を図っている。

また、藤沢市から、子育て短期支援事業を受託しており、地域の子育て支援に寄与している、様々な取り組みを行う団体です。

イベント概要「聖園子供の家・聖園ベビーホーム 馬との触れあいを楽しむ会」

■日時：平成27年6月19日（金）15時～17時

■場所：聖園子供の家グラウンド

■SCHEDULE

15:00 開会の言葉（聖園子供の家 疋田園長）

15:05 来賓紹介（聖園子供の家）

15:10 ホースセラピーについて（mudefセラピスト 大田恵美子氏）

15:20 乗馬体験（幼児～小学生低学年）

16:00 今野騎手への感謝状等の贈呈（聖園子供の家 疋田園長及び園児）

16:05 今野騎手からの言葉

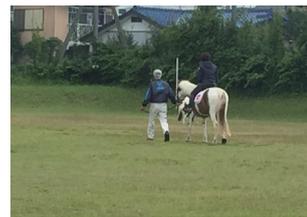
16:10 来賓祝辞（牧島功 県議会議員、井上保男 中央児童相談所長）

16:20 乗馬体験（小学生～中学生）

*合間に今野騎手の模範乗馬

*今野騎手への寄付の感謝状の贈呈

16:50 閉会の言葉（聖園子供の家）



当日レポート

イベント当日は幼稚園の子どもから小学生を中心に約40名が参加。乗馬体験のほか、ポニーへのニンジンやりやブラシを使っての毛づくろいなどを体験しました。

馬の気持ちを考えて世話をすることで、馬と気持ちが通い合う喜びが生まれます。また、馬に乗るとその高さに感動し、馬の温かさから心のやすらぎが生まれます。大きな馬の背に揺られ、意思を通じ合わせることによって、自信が回復し、喜びや楽しみがあふれ、日常のストレスや孤独感を癒してくれます。

始めはおそるおそる馬に近づいた子どもたちも段々積極的に馬のお世話をするようになります。「もっと小さなブラシない?」「馬の鼻にブラシかけたいの」「馬にもっとニンジンあげてよい?」子どもたちから馬にもっと触りたい、というリクエストもたくさん聞こえてきました。

また当日は、騎手デビューから2年目以降、19年間にわたって、「聖園子供の家」に寄付を続けている川崎競馬に所属する今野忠成騎手（38）への感謝の会も開催されました。

今野騎手は、この施設で小中学生時代を過ごした選手。デビュー2年目からこれまで寄付した総額も1000万円に達しています。今野騎手へ、子どもたちから「お馬に乗ったサンタさんへ」と書かれた感謝のメッセージカードが渡されました。

約2時間にわたるイベントは、残念ながら少し小雨がばらつく中での開催となりましたが、どの子どもたちも楽しそうに、イベントに参加してくれました。

当日はEFPボランティアの皆さんも参加され、非常に和気あいあいとした開催となりました。

当日の様子は記事になりました。

6月20日付朝日新聞朝刊「騎手恩返し寄付計1000万円」
「恩返し19年で寄付1000万円 川崎競馬・今野騎手が藤沢の施設に」
カナロコ by 神奈川新聞 6月20日（土）配信
<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20150620-00001867-kana-114>



HAPPY BATTON PROJECT 詳細は特設サイトでご覧ください。
HAPPY BATTON PROJECT HP：<http://www.mudef.net/hbp/>